

マツヨシ メディストレッチャー2

MY-MDST02

取扱説明書



松吉医科器械株式会社

〒113-8520

東京都文京区湯島 3-14-9 湯島ビル 3 階

TEL (03) 5816-8819

はじめに

この度は、弊社製品をお買い求めいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書には、お客様が安全にご使用して頂くために必要な注意事項や、正しい使い方が記載されております。

ご使用前には、必ずお読み下さい。

この取扱説明書には、保証書が付いております。

なお、内容の確認がいつでもできるように、この取扱説明書は大切に保管してください。

目次





1. 安全上の警告・注意	1～2ページ
2. 構成品・付属品	3ページ
3. 使用前点検	3ページ
4. 使用前の準備	3～4ページ
5. 各部名称	5ページ
6. 各部の使用方法	6～9ページ
7. 清掃に関する事項	10ページ
8. トラブルシューティング	10ページ
9. 技術仕様	11ページ
10. 保証規定	11ページ

1. 安全上の警告・注意

使用する前に、この「安全上の警告・注意」を、よく読んで、正しくお使いください。


※ここに示した注意事項は、製品を安全かつ適正に使用して、使用者等への危害や損害を未然に防止するためのものです。


※危害や損害の大きさと切迫の程度を明確にするため、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の二つに区分して示しています。


図記号の例	
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負うことが想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことや、物的損害の発生が想定される内容を示します。
	禁止（してはいけないこと）を示します。
	強制（必ず守ること）や指示を示します。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。





	<ol style="list-style-type: none">1. 患者様の搬送用以外には使用しないでください。2. 本製品の耐荷重135Kgです。それ以上の荷重を製品にかけないでください。また、本製品の上で、心臓マッサージなどの耐荷重を超える負荷のかかる行為はしないでください。思わぬ破損事故につながる可能性があります。3. 本製品は、患者様1人用に設計されております。 お子様といえども、必ずお1人の方でご使用ください。4. 患者様の搬送時は、急な方向転換などしないでください。患者様に余計な振動を与えないで下さい。5. 改造しないでください。強度や耐久性が低下し、思わぬ事故になる恐れがあります。（保証対象外）
---	---

	<ol style="list-style-type: none">1. 本製品を使用する時は、周囲の安全に十分に気をつけてください。2. 患者様の搬送は、必ず2人以上で行ってください。3. 患者様の乗せ替えをする時は、必ずブレーキを掛けて行ってください。4. ベッドフレームを上下させる時は必ずブレーキを掛けて行ってください。5. 背もたれを上下させる場合は、必ずブレーキを掛けて行ってください。6. 患者様を搬送する時は必ず両側のサイドレールを立てて、ロックされていることを確認してください。7. 患者様を搬送する時は、落下防止のため患者様固定ベルトで脇下と腰付近を固定してください。8. サイドレールに寄りかかったり、立ち上がりの手すりに利用しないでください。
---	--

	<p>破損した場合、患者様が落下する恐れがあり大変危険です。サイドレールは搬送中の落下を防止するためのものです。</p> <p>9. ベッドフレームの両端に腰掛けるとストレッチャーが転倒する恐れがあるので、おやめください。</p> <p>10. ストレッチャーの上では立ち上がらないでください。</p> <p>11. ベッドフレームに腰かけたり、立ち上がった状態での昇降ハンドル操作は大変危険ですのでおやめください。</p> <p>12. 移乗用マットレスは担架ではありません。スライド用として設計されていますので、患者様を持ち上げて運搬しないでください。</p> <p>13. サイドレールを上げ下げする時は、必ず患者様の状況を確認してください。身体にぶつかったり、転落の恐れがあります。</p> <p>14. サイドレールの下降用レバーを引いた後は、サイドレールが確実に下降したことを確認してください。</p> <p>15. 火気に近づけないでください。</p> <p>16. 使用中に異常が見つかった場合は使用を中止し、販売店に連絡していただきますようお願いいたします。</p>
---	--

 **注意**

	<p>1. 浴室・高温室・冷凍室・スチーム室などの環境や酸・アルカリなど腐食性の強い環境、極端な油・水回りでの使用は変形・強度低下・破損の原因になりますので避けてください。</p> <p>2. 保管は湿気の少ない室内でおこなってください。</p>
	<p>1. マットレス等は使用状況により消耗します。取替え等は本製品を購入された販売店にご相談ください。</p> <p>2. 患者様を乗せた状態で背もたれを下ろす場合、必ず背もたれをしっかりと支えた状態で行ってください。患者様の重みで背もたれが勢いよく下がる恐れがあります。</p> <p>3. ストレッチャーから離れる時は必ずブレーキを掛けてください。また傾斜地など不安定な場所には放置しないでください。</p> <p>4. ストレッチャーから降りる時は、サイドレールを下げ、ガード棒受けが当たらないように確認してください。</p> <p>5. 段差や溝などを勢いつけて乗り越えようとするのは危険ですのでおやめください。</p> <p>6. 傾斜地や凹凸、段差のある場所でのご使用はストレッチャーが不安定な状態になり大変危険ですのでお使いにならないでください。</p> <p>7. 本製品は屋内専用です。また、湿気の多いところや浴室で使用しないでください。サビや故障の原因になります。</p> <p>8. 製品をシャワー等で丸洗いしないでください。サビ、劣化の原因になります。</p>

2. 構成品・付属品

- (1) 酸素ボンベ架（横置き） (2) ガートル棒受け 4箇所
(3) ガートル棒（伸縮式）1本 (4) 患者様固定ベルト 2本 (5) 移乗用マットレス
(6) 厚手マットレス (7) 酸素ボンベ収納スペース（固定ベルト付）

3. 使用前点検

ストレッチャーの使用前には必ず各部を点検してください。

- (1) ブレーキがかかること。
- (2) 昇降用ハンドルを回し、スムーズにベッドフレームが上下し、ガタつき、異音がないこと。
- (3) サイドレールが確実に固定できること。
- (4) サイドレールが自重で下がること。
- (4) キャスターの割れ、取付けにガタが出ていないこと
- (5) 背もたれの角度調節がスムーズに行えること、固定がしっかりできること。
- (6) 中央キャスターの直進、自在の動きが出来ること。

異常が見つかった場合は使用を中止し、販売店に連絡をしていただきますようお願いします。

4. 使用前の準備（ガートル棒取付け、酸素ボンベ取付け）

【ガートル棒取付け方法】

●収納時



●使用時



●ロック時

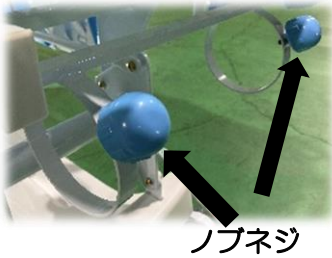


- (1) 左の写真のように、ガートル棒受けを90度回転させ取り出し、ストッパーできちんと固定させ、ガートル棒を奥まで挿入し、ノブネジをしっかり止めてしっかり固定させてください。
- (2) ガートル棒がしっかりと固定されていることを確認したら、ガートル棒の高さ調節ノブでしっかり止めて使用してください。
- (3) ガートル棒を使用しない時は、ベッドフレーム下の収納スペースに収納が出来ます。
- (4) ガートル棒受けをぶつけて破損させないように気をつけてください。使用後は必ず収納してください。

⚠ 注意

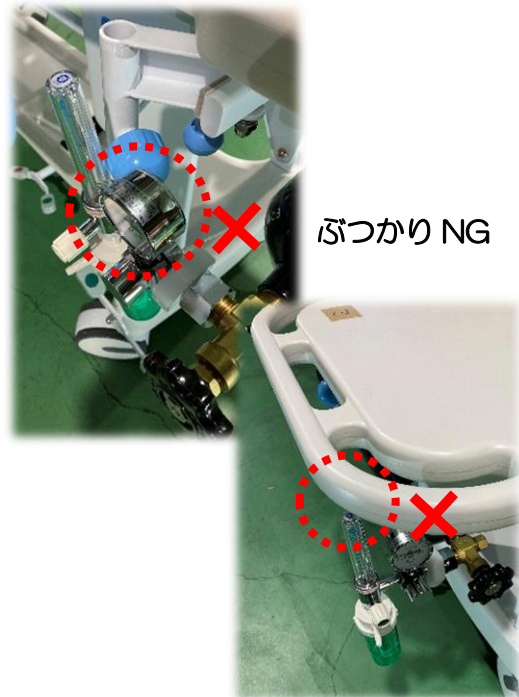
1. ガートル棒がしっかりと固定されていることを確認の上、ご使用ください。
2. ガートル棒受けは、しっかり固定させてください。
3. ガートル棒には輸液・補液バッグやボトル以外のものをかけないでください。
また、フックや棒にぶら下がったりしないでください。
4. ガートル棒の高さ調節ノブはしっかりと締めてご使用ください。
5. ガートル棒受けをぶつけて破損させないように注意してください。

【酸素ボンベ 取付方法】



- (1) の酸素ボンベ架（横置き）に酸素ボンベを取付け、ノブネジ（2箇所）を止めてしっかりと固定させてください。
- (2) 酸素ボンベがしっかりと固定され、酸素流量計のぶつかりがないことを確認してから使用ください。

取付けた状態



⚠ 注意

1. 酸素ボンベがしっかりと固定されていることを確認の上、ご使用ください。
2. 酸素ボンベを挿入する際に、酸素流量計をぶつけて破損しないように気を付けてください。
3. 酸素ボンベ未使用時は、酸素ボンベを酸素ボンベ架（横置き）に置きっ放しにしないでください。

5. 各部名称



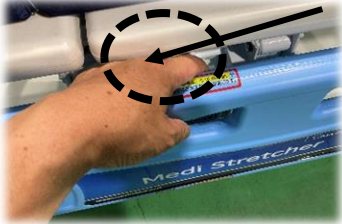
商品特長

1. 背もたれは0～75°まで無段階調節が可能です。
2. ブレーキは、4輪トータルロックです。2箇所のペダルどちらからでも操作でき、4輪すべてのキャスターの回転と旋回を同時に固定又は解除ができます。
3. 中央キャスターの直進補助により、直進移動が楽に行えます。
4. 左右のサイドレールは垂直方向に上下移動するため、スペースをとりません。
5. ガートル棒は頭側、足側の4箇所に設置可能で、使わないときはベッドフレーム下のフックに収納できます。
6. 酸素ボンベ架（縦置き）は標準装備です。又、酸素ボンベをベッドフレームの下にある酸素ボンベ収納スペース（固定ベルト付）にも収納可能です。
7. 昇降ハンドル（クランク式）を回すことで、ベッドフレームの上昇・下降が行え、任意の高さに調節することができます。

6. 各部の使用法

【サイドレールの使用法】

- 上げるとき サイドレール上部を持ちあげる



(1) サイドレールの上部をしっかりと持ち、真上方向にサイドレールを引き上げてください。

下部中央を持って持ち上げると指はさみのおそれがあります。



(2) しっかりと固定されるまで引き上げてください。

- 下げるとき



サイドレールレバー
(下降用)

(1) サイドレールレバー（下降用）を引いてください。

サイドレールが自重で下降します。

その際、サイドレール上部を持ったままですと

指をはさむおそれがあります。

(2) 指をはさまないように注意して下さい。



⚠ 警告

1. サイドレールを上げ下げされる際には、指をはさまないように特にご注意ください。

【上げる時】

上げる際には必ずサイドレール上部の取手部を持って上げてください。

サイドレール下部を持って上げると指はさみの原因となる恐れがあります。

【下げる時】

サイドレールレバー（下降用）を引いてください。 サイドレールが自重で下降します。

その際、サイドレール上部中央を持ったままですと指をはさむおそれがあります。

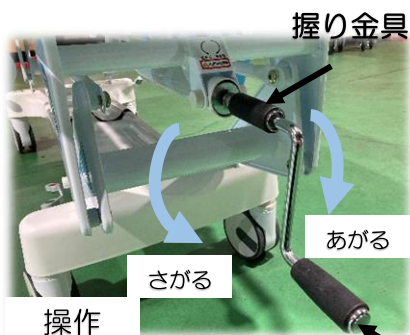
2. サイドレールがしっかりと固定されていることを確認した上でご使用ください。

特に、上げる際にはしっかりと固定されていることを確認してください。

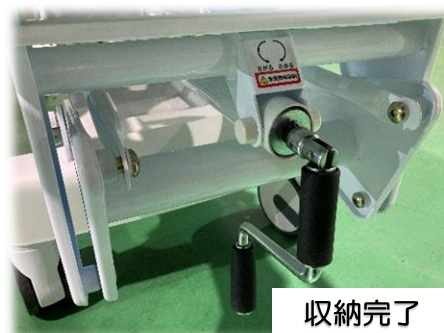
しっかりと固定されていないと使用中の衝撃でサイドレールが下降し、ケガの原因となる恐れがあります。

3. 移動時にはサイドレールを左右両方とも上げ、必ずサイドレールを上げた状態で移動・運搬を行ってください。

【昇降ハンドルの使用方法】



ハンドル部



- (1) 昇降ハンドルのハンドル部を持ち上げて、使用可能な状態にセットして、操作できる状態にしてください。
- (2) ハンドル部を時計回りに回転させるとベッドフレームが上昇し、反時計回りに回転させると降下します。最上部または最下部に達した時はハンドル操作が重くなり、それ以上回すと故障や破損の原因となりますので無理に回さないでください。
- (3) 昇降ハンドルは折りたたみ式となっています。操作が終わりましたら、中央の握り金具を手前に引きながら折りたたんでください。そのとき片手でハンドル部を持ち、両手で操作してください。指をはさまないように昇降ハンドルの握り金具は手前の方を握って操作してください。
- (4) ベッドフレームの昇降時以外は昇降ハンドルをかならず折りたたんだ状態にしてください。

⚠ 警告

1. ハンドルの回し過ぎにご注意ください。ハンドルが重くなっても回し過ぎますと思わぬ故障や破損の原因となります。
2. ハンドルを回す際に異音や動作が重くなる等の異常が発生した場合には使用を中止し、販売店にご連絡いただきますようお願いいたします。
3. ハンドルを使用しないときは、必ずハンドルをたんで収納してください。ハンドルにつまつき、転倒する恐れがあります。

⚠ 注意

1. 指をはさまないように握り金具は手前の方を握って操作してください。
2. 昇降ハンドルの操作中にベッドフレームの端部に腰掛けたり、立ち上がっていないかを確認してください。
3. ハンドルを折りたたむ時に手・指をはさまないように十分に注意してください。

【ブレーキペダルの使用方法】

赤色（ロック状態）



緑色（解除状態）



(1) ブレーキペダルは、2箇所あり、どちらか1箇所のブレーキペダルの赤色側を踏むと、全てのキャストのブレーキが掛かります（トータルロック）。

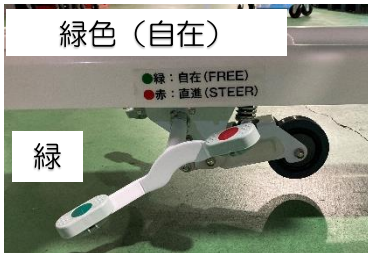
また、どちらかのブレーキペダルの緑色側を踏むと全てのキャストブレーキが解除されます（トータル解除）。

⚠ 警告

1. ブレーキを掛けたまま無理にストレッチャーを動かさないでください。
無理に動かすと故障の原因になります。
2. ブレーキペダルは、靴を履いた足で踏み込んで操作してください。
過度に踏みつけたり、金づち等で叩くと制動部品の変形の原因になりますので行わないでください。

【中央キャスト（直進補助）のペダル使用方法】

緑色（自在）



赤色（直進）



(1) 中央キャストのペダルは2箇所あり、どちらか1箇所のペダルの赤色を踏み込むと、直進移動が楽に行えます。キャストの進行方向は写真の矢印の方向です。

(2) 中央キャストのペダルの緑色を踏み込むと、自在移動が可能です。

(3) 移動をする際は、必ずブレーキを解除して、しっかりと手で押さえ、左右のバランスを保ちながら走行させてください。

⚠ 警告

1. ブレーキを掛けたまま無理にストレッチャーを動かさないでください。
無理に動かすと故障の原因になります。
2. 中央キャストのペダルは靴を履いた足で踏み込んで操作してください。
過度に踏みつけたり、金づち等で叩くと制動部品の変形の原因になりますので行わないでください。
3. 移動をする際は、必ずブレーキを解除して、しっかりと手で押さえ、左右のバランスを保ちながら走行させてください。
床面の状況等により、思わぬ方向に傾くことがあり大変危険です。

【背もたれ角度の調節方法】



背もたれ操作レバー



背もたれ

背もたれをしっかり支えて操作

- (1) 左の写真のように背もたれをしっかりと支え、背もたれ操作レバーを引き、角度調節を行ってください。
背もたれが勢いよく上がり、身体にぶつかる恐れがあります。
- (2) 下の写真のように角度調節をする際は、必ず背もたれの中央部を持って行ってください。
背もたれの左右の端を持って行くと指をはさみ込む恐れがあります。
- (3) 角度調節をしたら、背もたれが固定されていることを確認してください。



警告

1. 背もたれを角度調節する際は、
 - ・必ず背もたれをしっかりと支えながら行ってください。
背もたれが勢いよく上がり、身体にぶつかる恐れがあります。
 - ・必ず背もたれの中央部を持って、行ってください。
背もたれの左右の端を持って行くと指をはさみ込む恐れがあります。
2. 患者様を乗せた状態で背もたれを下ろす場合、必ず背もたれをしっかりと支えた状態で行ってください。患者様の重みで背もたれが勢いよく下がる恐れがあります。
3. 背もたれを角度調節する際は、必ずブレーキを掛けて行ってください。

注意

背もたれの角度を調節した際は、しっかりと背もたれが固定されていることを確認し、ご使用ください。

7. 清掃に関する事項

(1) 金属部分(フレーム等)

フレームなどの金属部は、乾いた布でよく汚れを落としてください。凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびりついた汚れは市販の中性洗剤をご使用ください。

(2) 樹脂(プラスチック)部

樹脂部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

(3) マットレス部

①シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、完全に乾かしてください。

汚れがひどい場合には、中性洗剤を染み込ませた布で汚れを拭き取り、その後水で濡らした布で洗剤を拭き取ってください。

②しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取り除いてください。

③洗う場合はぬるま湯で手洗いし、完全に乾燥させてからご使用下さい。乾燥していない状態での使用は、カビ等の原因になります。また、洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。

消毒はアルコールで湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

注意

1. 熱湯やオゾン水で洗淨しないでください。
故障・変質・変色の原因となります。
2. 中性洗剤以外を使用しないでください。
中性洗剤以外を使用した場合変質・変色・傷みの原因となります。
3. シンナーやベンジンなどの有機溶剤のものは使用しないでください。
変質・変色・傷みの原因となります。
4. たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
傷みの原因となります。

8. トラブルシューティング

下記以外のトラブル(異常)・原因の場合、また、下記の処置では解決しなかった場合には、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。トラブル解決までは、絶対に使用しないでください。

トラブル項目	主な原因	処置
ベッドフレームが上昇しない。	1番上に上がっています。	ご使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。
ベッドフレームが下降しない。	1番下に下がっています。	
キャスターがガタガタする。	キャスターの劣化。	
ブレーキがかからない。		
ベッドフレームがガタガタする。		
昇降部がガタガタする。	ボルトのゆるみ。	
角度調整のロックがかからない		
サイドレールのロックがかからない。		
異音がする。		

9. 技術仕様

品名・名称	マツヨシ メディストレッチャー MY-MDST02
寸法 (mm)	1900 (全長) × 660 (幅) × 550~850 (高さ)
移乗用マットレスサイズ (mm)	1830 (全長) × 530 (幅) × 20 (厚さ)
厚手マットレスサイズ (mm)	1885 (全長) × 550 (幅) × 55 (厚さ)
質量 (kg)	約90
背もたれ調節角度 (°)	0~75 空気ばね式背上げ機構付
耐荷重 (kg)	約135
キャスター径 (mm)	φ150
酸素ポンベ架 (横置き) 径 (mm)	φ118

10. 保証規定

- (1) 保証期間は、お買い上げ後1年間です。
 - (2) ご使用中、故障が発生した場合はお買い上げの販売店または弊社へ、本証を提示し修理をご依頼下さい。
 - (3) ただし、下記の場合は保証期間中でも有償になります。
 - イ. ご使用上で取扱いの過誤により発生した故障。
 - ロ. 製品の改造、不当な修理により発生した故障。
 - ハ. 火災、地震、水害等天災地変などの不可抗力による故障および損傷。
 - 二. 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
 - ホ. 消耗部品。
 - ヘ. 保証書のご提示がない場合。
- (4) 保証書は再発行いたしません。大切に保存して下さい。

品質保証書

この度は、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本品は、徹底した品質管理と厳重な検査を経て出荷されておりますが、通常のご使用に於いて万一故障が発生しました時は、上記の保証規定により修理いたします。

お買い上げ

販売店名

担当者名

⑧

お買い上げ

年月日 年 月 日

お名前

ご住所

電話番号

松吉医科器械株式会社

〒113-8520 東京都文京区湯島 3-14-9 湯島ビル 3階

TEL (03) 5816-8819